

令和5年度第2回埼玉県県央地域保健医療協議会 議事概要

開催日時：令和6年3月15日（金）

19：00～19：43

開催形式：WEB開催

1 出席者

別紙参加者名簿のとおり

傍聴者 1名

2 議 事

（1）埼玉県地域保健医療計画圏域別取組（第8次）案について

概要について、保健医療政策課から説明があった。

【質疑・意見等】

（会長）

- ・第1部「基本的な事項」の基本理念2番目「今後増大する多様な医療需要に対応できる医療従事者の確保について」伺いたい。現在、本県の准看護師、准看護学校の生徒数がかなり少なくなっており、郡市の医師会の中でも、准看護学校、あるいは准看護師学校を閉校しようかというところも出てきている。今後の医療従事者の確保はこれで大丈夫なのかという懸念があるが、県としてどのような対策をとっているのか。

（保健医療政策課）

- ・所管は医療人材課となるが、看護師の確保については、第5部の第2章に、人材確保についての記載があり、第8次計画においては3本の柱を掲げている。一つ目は新規看護職員の養成として、准看護学校等への支援、二つ目の定着促進では、新人研修や院内保育等の仕事を続けるための環境整備、三つ目は、復職支援やナースセンターの就職支援等の職場に戻るための技術支援だと聞いている。今回、御指摘いただいた点は他圏域でも御指摘をいただいている。例えば、秩父の医師会の先生からも小中学生に対するPRと、高校生に対するPRは少し違うのではないかと教えていただいた。人材確保については、全県で取り組むこととしており、今回圏域別取組の柱としてはお願いをしていないが、先生方の御検討の結果、必要ということであれば、圏域別取組に入れていただくということもぜひ御議論いただきたい。

（会長）

- ・先ほど申されたように、小中学校ぐらいまでは看護師になろうという考えがあるかもしれないが、高校生になってアルバイトをすると時給1500円から

2000円近くまでもらえる。准看護師になって、給料がそれだけもらえるのか考えてしまうのではないか。その辺の対策も県の方でも考えていただけると助かる。

(2) 圏域別取組（第8次計画）の策定について

鴻巣保健所から、県央保健医療圏の第8次圏域別取組案について説明があった。当協議会から、県央保健医療圏の第8次圏域別取組案について、見直しを求める意見はなかった。

【質疑・意見等】

(会 長) 先ほど事務局から新たな重点取組として、新興感染症対策を設けたとの説明があった。新興感染症対策では、新型コロナウイルス感染症の経験が参考になるのではないかと思う。委員の皆様の新型コロナウイルス感染症に関する工夫、苦勞されている点等についてお話を伺いたい。コロナの検査キットや治療薬の確保、薬局の状況はいかがだったか。

(委 員) 新型コロナウイルス感染症が始まった頃、市もしくは県から薬剤師会に要望があったのは、ワクチンの1、2回目の接種の手伝い、治療薬の供給体制の確保、抗原検査キットの販売体制確保だった。開局薬剤師に声を掛け、日曜祭日にワクチン接種を手伝っていただいた。また、薬剤師会でどこの薬局にどの程度コロナ治療薬を備蓄しているかを取りまとめ、医師会に提示した。当会では休日当番医に対して休日当番薬局で対応しているので、その休日当番薬局には必ず抗原検査キットを置き、その旨を当会のホームページで案内した。地域連携という形で医療機関の診療体制だとかを承知してないと薬を置く云々という話は難しい。

(会 長) ありがとうございます。病院の感染対策は難しい部分が多いと思う。クラスター対策等はどのようにされているのか。

(委 員) クラスター対策は、基本的には入院前のチェックを今でもやっている。それをやってもクラスターがすべて防げるわけではないので、患者さんの体調をこまめに見て少しでも不審な症状があれば、積極的にPCR検査を行っている。当時（新型コロナウイルス感染症の流行初期）は、本当に物が足りなくて苦勞した。調整本部の調整も大変だったので、調整の仕方をもう一度振り返って、いかに効率よく医療機関の連携を図るか準備しておくのが大事だと思う。また、普段からある程度、新興感染症がアウトブレイクすることを想定した備蓄、体制を整えておくのが非常に大事だと思う。この教訓を生かして、少し余計でもいいので、困ったときにすぐ出せるという体制を整えていただけ

ると助かる。

- (会 長) なかなかクラスター対策は難しいと思う。施設でも、職員が感染して働ける職員がおらず大変だった。
- (委 員) 出勤できない陽性者や濃厚接触者の職員が出るのは結構大きな問題で、一つの部署の半分以上の職員が出勤できなくなってしまうと医療が成り立たなくなってくる。その時、目の前に患者さんはやっぱりいるので、コロナだけ、新興感染症だけじゃなくて、一般診療を困った事態になったときに助け合うそういう相互融通システムみたいなものを、普段から整えておくと良いと思う。
- (会 長) ありがとうございます。新型コロナウイルス感染症の診療検査について御苦労されている点などございましたら、お願いしたい。
- (副会長) 感染症対策として、小規模の医療機関では時間的、空間的に隔離をしないといけないので、それぞれの構造によって動線だとかいろいろなことが問題になってくる。予約制にして待合室を別にする、そういう苦労をした。
- (会 長) 発熱外来を集めるときは、何か御苦労があったか。
- (副会長) 本県は発熱外来を公表したが、すごくよかったと思う。患者さんがコロナかもしれないと熱が出たときにどこに行っていいいかわからなかったということがあるので、公表したのは非常によかったと思っている。

以 上